

「赤谷の森」自然林復元 100 年モニタリング調査会（植生版）

～植物の見分け方講座！

募集要項

～人工林が自然林に回復していく過程を 10 年、20 年、100 年！一緒に調べてみませんか～

日本自然保護協会（NACS-J）は、地域住民・林野庁との 3 者協働で、生物多様性保全と持続的な地域づくりを目指す“赤谷プロジェクト”に取り組んでいます。プロジェクトのフィールド「赤谷の森」（群馬県みなかみ町）は、イヌワシ・クマタカ・ツキノワグマがくらし、ブナの天然林が広がる首都圏の水源・利根川上流の 1 万ヘクタールの豊かな森です。しかし、現在は 1/3 が人工林になっています。プロジェクトでは、つくりすぎた人工林について、本来この地域にあった自然の林に復元することに取り組んでいます。



見渡す限りにスギが広がっていた大面積の人工林も、自然林を復元するための伐採実験を開始して 2 年が経過し、この森の将来を担うブナやミズナラなど、多くの植物が芽生えてきました。プロジェクトでは、この場所が本来の自然の林になるまで今後 100 年間！？一緒に調査して下さるボランティアの方々を募集しています。

植物の専門家（亀山先生・長池先生）から、植物の見分け方や、植生調査方法（植生調査、毎木調査など）を基礎から学ぶことができるプログラムを用意しています。植物調査の経験のない方も大歓迎です。ふるってご参加ください。

※昨年と一昨年の調査会の様子は以下の URL をご覧ください

<http://www.nacsj.or.jp/cgi-bin/mt/mt-search.cgi?search=100%E5%B9%B4%E3%83%A2%E3%83%8B%E3%82%BF%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%82%B0&IncludeBlogs=94&limit=20>

<概要>

開催日：2013年9月28日（土）－29日（日）

主催：公益財団法人 日本自然保護協会（NACS-J）

講師：亀山章（東京農工大学名誉教授）、長池卓男（山梨県森林総合研究所）

定員：15人（高校生以上；先着順）

参加費：1万5千円（NACS-J会員は1万1千円）※1宿泊3食、保険料込み
日帰り参加の場合、7千円（NACS-J会員は3千円）

宿泊：猿ヶ京温泉 仁田屋旅館

集合：上毛高原駅（9：45）もしくは、いきもの村（10：30）

解散：上毛高原駅（17：00）もしくは、いきもの村（16：00）

*いきもの村への行き方は右記のURLを参照 http://www.nacsj.or.jp/akaya/iv_access.html

*この事業は「資生堂花椿基金」の支援を活用して実施します

<プログラム（予定）>

1日目：○ミニレクチャー「赤谷プロジェクトとは？」「人工林を自然林に戻す取り組み～自然林復元試験地で何がわかったか？～」 「植物の見分け方講座」

○講習と現地視察「植物の見分け方講座」「ブナ・ミズナラの天然林と自然林復元試験地の現地見学」（植物の見分け方（特に草を中心に）を学ぶ）

○夜：懇親会 と 赤谷の森のいきもの映像鑑賞会（ツキノワグマ、イヌワシの子育ての様子などの動画）

2日目：○植生調査実習 「植物群落調査、毎木調査」（森林の種類構成・階層構造の記録方法、樹木の大きさとその経年変化を調べる方法を学ぶ）

<お申込み>

下記項目を9月15日までに、akaya@nacsj.or.jpへメールにてお送りください。メール表題は「100年モニタリング調査会（植生版）の申し込み」としてください。荒天が予想される場合は9月26日に中止のご連絡を致します。

氏名（ふりがな）／所属／連絡先住所／電話番号／FAX番号／E-mail／年齢／
NACS-J会員番号／集合場所（上毛高原駅 or いきもの村）／
解散場所（上毛高原駅 or いきもの村）／交通手段（車、新幹線&バス、等）

以上